

5年生 12月の様子 図工

「ファイヤーバード」(立体)



5年生は9月から電動糸のこぎりの学習活動に取り組んでいました。切り方だけではなく、刃の取り付け方や掃除の仕方も学習しました。はじめて触れる電動糸のこぎりに、最初はおそるおそるでしたが、慣れてくるにつれ、複雑で繊細な形をつくりだすことができるようになりました。

「ファイヤーバード」では、なるべく下書きをせず、炎の形をイメージしてベニヤ板を切る活動を行いました。切り出した炎の形の組み合わせから「ファイヤーバード」全体の形、作品の見せ方などを考えながらつくり、どの児童も迫力のあるファイヤーバードをつくることができました。展示していた期間には、「こんなに細かい形を切ることができるんだ」「かっこいい、私もつくりたいな」と鑑賞し、つぶやいている他学年の児童がいました。高学年の作品は、下級生の憧れとなっているようです。

「消して かく ～イノチのカタチ～」(平面)

12月からは、消しゴムで絵を描く活動を行っています。まず黒や焦げ茶のパステルで画用紙を塗りつぶしました。児童は、体全体をつかって手で色を伸ばしたり、力強くパステルをこすったりして描いていました。中には、微妙な明暗を感じながらパステルを伸ばして描いている児童もいました。



画用紙全体を黒く塗りつぶしたあとは、「イノチのカタチ」をテーマに消しゴムで絵を描いていきます。難しいテーマではありますが、消しゴムで消すことで生まれるカタチを児童なりに感じ取りながら、思い付いたことを絵に表しています。どのような作品が生まれていくのか、楽しみです。